

## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	杉戸町
②人口（※1）	46,816人（5月1日現在）（ ）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	25.2%（65歳以上の高齢化率）（ ）
④取組の概要	<p>「杉戸町要援護者あんしん見守りネットワーク」を構築し、高齢者や障がい者が住みなれた地域で、安心して自立した生活が出来るよう、地域住民、民間事業所、関係機関及び行政が連携して地域全体で要援護者の見守りや声かなどを実施し効果的な支援を行なう。</p> <p>○平成22年11月から実施し、平成25年4月現在では93団体の町内各事業所の登録がありに現在も新規登録確保の活動中。</p> <p>○年2回の全体会を開催し、ネットワーク会員の意識向上を図り研修会をとおり研鑽を深めている。</p>
⑤取組の特徴	<p>「杉戸町要援護者あんしん見守りネットワーク」をスローガンに、失いかけている地域の繋がりを今一度見直し、近隣の繋がりの大切さを再確認し、見守りや声かけの活動を主体として、ネットワークを生かしネットワーク会員の連携による要援護者の周りに潜む問題を早期発見・相談などを通じ、効果的な支援活動を実施する。</p>
⑥開始年度	平成22年11月開始
⑦取組のこれまでの経緯	<p>平成18年4月の施行で地域包括支援センターが設置されてから、当包括支援センターでは、地域住民の抱える問題に答える為、月一度の「地域ケア会議」を開催し、事例検討会等をとおり地域の問題解決に努めてきました。</p> <p>その結果、平成21年度の「地域ケア会議」での振り返りで、地域住民の抱える問題解決には、多職種の専門的意見や協働が欠かせないという意見が出され、これを解決するには、関係機関だけではなく、多職種相互の協働と連携が必要という事に到達し、平成22年度の地域ケアシステムに置いて、「杉戸町要援護者あんしん見守りネットワーク」の構築に力を入れる事になった。</p> <p>その結果、平成22年11月18日当事、覚書を締結した町内の85事業所の会委員を集め「杉戸町要援護者あんしん見守りネットワーク」の周知の為の第一回全体会を開催するに至った。</p>
⑧主な利用者とな数	杉戸町内 一人暮らし高齢者：803人、高齢者世帯：1,148世帯 要援護高齢者：306人（平成24年度集計結果）
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	<p>実施主体：杉戸町</p> <p>登録団体：93団体</p>
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	職員を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、それをとおり「杉戸町要援護者あんしん見守りネットワーク」を周知させ、日常の業務でのネットワークの活用に生かすことが出来ている。

⑪国・都道府県の関 与（支援等）（※3）	
⑫取組の課題	<p>昨年度末で、5回の全体会を終えることが出来、町内の会員の事業所が93箇所と増え、ネットワーク関係の通報が確実に寄せられるようになっているという現状がある。</p> <p>&lt;通報件数&gt;</p> <p>平成22年度：14件 平成23年度：168件 平成24年度：106件</p>
⑬今後の取組予定	<p>「杉戸町要援護者あんしん見守りネットワーク」を活用し要援護者の個別支援活動について、小ネットワーク会議を開催し、ネットワーク会員としての役割分担や意見交換（会員の専門的見地から）などをおし、要援護者の支援体制の強化を図る。</p>
⑭その他	
⑮担当部署及び連 絡先	<p>杉戸町役場 高齢介護課 地域包括支援センター担当</p> <p>0480—33—1111（代表）</p>

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。